

令和3年度 第4回新見市地域公共交通会議 議事要旨

日 時 令和4年1月6日（木） 14:00～15:30

場 所 新見市役所 南庁舎 3階大会議室

会議の成立：委員12名の内、出席9名、委任状3名により、本日の会議は成立する。

次 第

1 開 会

2 会長挨拶

3 報告事項

報第1号 公共交通に関するアンケート調査結果について

報第2号 予約型乗合タクシー実証運行経過報告について

報第3号 市営バスの標準的なバス情報をフォーマット（GTFS-JP）について

4 協議事項

議第1号 令和3年度地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価について

議第2号 市街地循環バス「ら・くるっと」10周年記念事業における無料乗車イベントの実施について

5 その他

6 閉会

令和3年度第4回新見市地域公共交通会議 議事録
(令和4年1月6日(木) 14:00~15:30、新見市役所南庁舎3階大会議室)

■ 1 開会

司 会 (事務局長)

会議成立確認報告

■ 2 会長挨拶

皆さん明けましておめでとうございます。新年早々、第4回新見市地域公共交通会議を開催するというので、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。幸いにして今日は、若干暖かいということで、天候にも恵まれたかなと思います。昨日が二十四節気でいう小寒ということで、これから本格的に寒くなるという季節がきました。ぜひ委員の皆様にも健康管理をしっかりしていただければと思います。公共交通は一昨年来、新型コロナウイルスということで相当打撃を受けていることはご承知のとおりだと思います。さらにオミクロン株がチラチラと出てきている。安定的に公共交通を提供していく、サービスを提供していくということが非常に重要な時で、そのために会議の中でもいろいろなことを検討していくということになっています。本日は報告案件が3件、協議事項が2件ということで、いろいろと情報が提供されると思います。何か気になることがあれば、積極的に発言していただいて、少しでもいい計画づくりができるようにしていきたいと思っております。よろしくお願ひします。

■ 議長選任

司 会

新見市地域公共交通会議要綱第5条4項の規定より会長を議長に選任する。

■ 3 報告事項

議 長

報第1号 公共交通に関するアンケート調査結果について事務局から説明を求める。

事務局

公共交通に関するアンケート調査結果について説明します。今年度実施した、3000世帯を対象にした住民アンケート、高校生及び大学生を対象にしたアンケート、ふれあいバスの利用者アンケート調査の集計ができましたので報告します。まず住民アンケート、高校生及び大学生を対象にしたアンケートの集計結果について、委託先の株式会社バイタルリードから説明します。

(株) バイタルリード (資料1)

資料1の公共交通に関するアンケート調査結果を用いて説明します。時間の都合で全ての設問の回答結果について、説明することができないので、かいつまんで説明します。

1 ページ目の住民アンケート調査について、市内の全世帯を対象に無作為に抽出した3000世帯を対象に各世帯に1部ずつ配布しました。郵送配布・郵送回収で行ったアンケート調査です。2 ページ目からは調査結果のグラフや表を載せておりますが、住民アンケートにつきましては、全体

で集計した結果と、中学校区別に集計した結果を一緒のグラフや表にして載せております。表の場合は、1番左側の列が全体の結果、右側に各地域の結果が続いていきます。グラフの場合は1番上のグラフが全体の結果で、下の方に地域別の結果が続いていきます。

まず、回答者の属性ですが、年齢を見てみると、77.3%が60歳以上の方でした。また、下から2番目のグラフをみていただきますと、20.8%の方が自動車・バイクのどちらも運転しないと回答しました。

また、送迎のグラフで、「あなたには気兼ねなく送迎を頼める方がいますか」という質問に対して32.6%の方が気兼ねなく送迎を頼める方がいないと回答しました。続きまして、その下のグラフ(②普段のお出かけの交通手段)は、普段利用される交通手段を伺っています。すべての地域において「自分で運転する車」の割合が最も高いです。しかし、中学校区単位でいうと、新見第一地域の「タクシー」と回答された方、神郷の「市営バス」と「鉄道」と回答された方、哲西の「鉄道」と回答された方が他の地域と比較すると、少し割合が高い状態でした。

3ページにうつります。ここから運転免許の返納のご意向等を聞いております。「返納意向」のグラフを見ていただくと、青色が1年以内に免許証を返納する予定であると回答された方、ピンク色が2～5年以内に免許証を返納する予定であると回答された方になりますが、この2つを足して、5年以内に返納する予定があると回答された方は、全体で9.2%でした。

次の4ページについて普段のお出かけ先について伺っています。「通院はどこに行かれますか」と「買い物はどこに行かれますか」ということを分けて聞いておりますが、回答があった施設を地域別に集計して、回答割合が高い順に5施設ずつ掲載しています。黄色の網掛けのところが、新見市外の施設になります。一点訂正ですが、大佐の金田医院に黄色の網掛けがついていますが、こちらは、市内の施設です。結果としては、大佐と哲西は、地域内の医療機関をあげた方の割合が高いですが、その他の地域では、新見市の中心部にある医療機関を挙げた方の割合が高いです。また、大佐、神郷、哲西では、隣接する鳥取県日南町や広島県庄原市などの医療機関を回答されていました。

続きまして、買い物のお出かけ先ですが、大佐は地域内の商業施設をあげた方の割合が最も高かったのですが、その他の地域は、新見市の中心部の商業施設をあげた割合が高かったです。また、先ほどのように、新見南の地域では真庭市、哲西では、庄原市の商業施設を回答されています。

次に6ページ。ここからは公共交通の利用に関する問いの集計です。まず、備北バス、市営バス、市街地循環バス「ら・くるっと」の利用頻度をお尋ねしておりますが、3つのバスに共通して、黄色が9割ぐらいを占めておりますが、この黄色がほとんど利用しないと回答された方です。利用者の割合は1割か、それに満たないぐらいでした。

次に7ページの下側。公共交通について最も不便を感じる点について伺っています。これも備北バス・市営バス・「ら・くるっと」に分けて聞いていますが、傾向としては、すべてのバスにおいて、全体の運行本数が少ないという回答が最も多い状態でした。

続きまして8ページ。こちらは公共交通を利用しないと回答された方に対して、「なぜ利用しないのですか」と伺っています。すべての地域において、「自分で自家用車を運転できる」と回答された方の割合が最も高いです。また、哲多地域については、「自宅からバス停、駅が遠い」と回答された割合が他地域と比較して少し高い状態でした。その下にレーダーチャートをつけておりますが、今回、市営バス、市街地循環バス「ら・くるっと」については、いろいろなサービスの満足度を聞いております。青線が市営バスの満足度、赤線が「ら・くるっと」ですが、どちらも運賃の満足度

が比較的高い状態で3.0を上回っています。一方で、自分が利用したい時間帯の運行状況の満足度が比べて低い状態です。

市民アンケートの説明は以上ですが、本日住民アンケート調査自由意見一覧を配布しております。住民アンケートに書かれたご意見を項目別に集計したものです。地域別に回答数の多い順になっており、各地域の上位の意見を比較して、複数の地域に共通するものについては、赤や青や紫、緑の色付けをして目立たせております。またこちらもお確認していただければと思います。

元の冊子にお戻りいただきまして、9ページ目から、高校生アンケート調査の結果を記載しております。こちらは共生高等学校、新見高等学校の1・2年生を対象に学校を通じて配布、回収を行ったものです。登下校の方法や今後のバス利用意向等をお伺いしています。

10ページから調査結果をあげています。10ページの②通学方法について、40～50%前後の人が徒歩・自転車・自家用車の送迎を利用しております。20%程度の人が鉄道を利用し、10%程度の人が備北バスを利用しております。市街地循環バス「ら・くるっと」及び、市営バスを利用する人は4%程度となっています。

続きまして11ページ。通学方法として、先ほど路線バスを選択した方のみが回答する問いとなっています。まず、1か月間の平均利用回数ですが、登校時、下校時ともに、「5回未満」及び「5回以上10回未満」と回答した人の割合が50%を超えています。

続きまして12ページ。試験等で【下校時間が早まった際の下校手段】をお伺いしています。こちらについては、57.1%の方が「家族に迎えに来てもらう」と回答しており、次いで、「普段より早い便を利用」と回答された方の割合が33.8%で次に高い状態でした。12ページの3つ目のグラフですが、【サービス改善後の利用意向】ということで、現在路線バスを利用していない人のみが回答するようになっております。サービスが改善しても「利用しないと思う」と回答された方が全体の58.5%でした。29.7%の人が「運行時間があれば利用すると思う」と回答されており、利用意向がある選択肢の中で割合が最も高くなっております。

続きまして13ページ。JRでの通学についてです。こちらでもJRを選択した人が回答するようになっています。【1か月の平均利用回数】ですが、登校時・下校時ともに、80%程度の人が20回以上、ほぼ平日毎日利用すると回答しておられます。

続きまして14ページ。高校生に対してだけでなく、保護者の方にもアンケートを取っており、14ページの⑥保護者による送迎のところから、保護者の方が回答された回答結果になっております。【送迎の有無】ですが、80.9%の人が自分で「子供を送迎することがある」と回答されております。【主な送迎先】としては、「学校または学校近辺」まで送迎する人の割合が最も高く、80%の人が回答しています。また、【1か月間の送迎回数】は、30%ぐらいの人が「20回以上」送迎しており、ほぼ毎日のように送迎をされていると回答されております。保護者様が感じておられる【送迎の負担感】について、「負担を感じる」、「ときどき感じる」というのを合わせると、60%程度の方が送迎を負担に感じているという状況でした。

15ページ、3・大学生アンケート調査です。新見市立大学の1・2年生を対象に大学を通じて調査票を、配布・回収して行ったものになります。

16ページから調査結果となっております。16ページの下側、②登下校手段を見ていただきますと、83%程度の人が「徒歩」で通学すると回答されています。また10%程度の人が、「市街地循環バス「ら・くるっと」や「鉄道」を利用すると回答しておられます。

続きまして17ページ。高校生と同じように、路線バスに利用の実態をお伺いしていますが、こちら、路線バスを選択した人のみの回答になります。50%以上の方が路線バスを使う回数が月に5回未満と回答しておられます。

続きまして18ページ。高校生と同じように下校時間が早まった際の下校手段を聞いておりますが、「徒歩」や「自転車」など公共交通以外の手段を選択する割合が高くなっております。また、18ページの3つ目のグラフの、【サービス改善後の利用移行】ですが、30%の人が「運行時間が合えば利用すると思う」と回答しており、利用意向がある選択肢の中で最も高い割合です。

19ページに移ります。④JRでの通学についてお伺いしております。JRを利用されている方にお伺いしておりますが、登下校ともに90%以上の方が月に「20回以上」利用すると回答されております。

20ページに、レーダーチャートがついていますが、大学生の方に関しては、⑥バスの満足度を項目別にお伺いしており、「料金」の満足度が最も高く4.1%となっております。「運行本数」「運行のダイヤ」「最終便の時間」の満足度が他の項目と比べて低い状況となっております。

今回のアンケート調査結果に関する説明は以上です。

事務局（資料1-2）

続きまして、ふれあいバスの利用者アンケート調査の集計結果について報告いたします。本日お配りした資料1-2をご覧ください。新見市地域公共交通計画策定ニーズ調査の一環として、昨年の6月にふれあいバスに利用登録されている新見地域及び哲西地域の方を対象にアンケート調査を実施いたしました。91世帯に配布し、回収数は54世帯で約60%の回収率でした。まず右上の【年齢】のグラフについて、アンケートに回答された利用者の中、9割以上の方が60歳以上という結果になりました。【現在の運行時刻】について、行き便・帰り便ともに大半の方が「今のままがよい」に回答しているものの、行き帰りともに約10%の人が「少し早いほうがよい」と回答されています。一番下のグラフの【ふれあいバスを利用しない主な理由】について、「自家用車が便利」や「中心市街地までいけない」と答えた方が多い結果になりました。自家用車をはじめ、タクシー、福祉タクシー、路線バスなどのふれあいバス以外の交通手段の方が便利と答えた方が約4割弱おられました。裏面に移りまして、【主な外出目的】として、「通院」「買い物」と回答された方が9割以上を占める結果になりました。回答者が60歳以上の方が大半だったため、このような結果になったと考えられます。続きまして【ふれあいバスの利用に際して、不便や不満に思っていること】ですが、「運転手が不親切」「車に乗り降りしにくい」「大きな手荷物が持ち込めない」などの意見がありました。最後の【自由意見】のここでは、運行本数を増やして欲しい、目的地まで乗換なしで行きたいとの声が複数ありました。

簡単ではありますが、以上で公共交通に関するアンケート調査結果の説明を終わります。

議長

ありがとうございました。

住民アンケート、高校生アンケート、大学生アンケート、ふれあいバス利用者アンケート以上の4つの調査結果についてでした。

公共交通アンケート調査結果資料1の13ページ、19ページに意外と見ない形のグラフが出てきています。高校生と大学生に1か月あたりの平均活動日数と、その平均の活動時間をグラフ化して

いただいておりますが、何が分かり、これをどのように計画づくりに活用するのかを教えてください。面白い表現なので、ぜひご説明ください。

(株) バイタルリード

高校生アンケートでは13ページ、大学生アンケートでは19ページに同じような円を並べたような図表がついていると思います。先ほど議長から説明いただきましたように、「買い物・飲食」とか「趣味・娯楽」など項目別に、学校が終わった後にどういう活動を中心市街地でされますか、ということをお伺いしています。どう活動するかだけでなく、縦軸が、1回の平均活動時間、横軸はその活動を1か月あたり平均でどれくらい活動しますか、というところを聞いています。表の見方としては、上の方向にいけばいくほど平均活動時間が長くて、右側にいけばいくほど1か月あたりの活動日数が多いということになります。円の大きさが、実際に回答された方の人数を表しており、円が大きければ大きいほど、その活動をされる方が多いということになります。高校生の方を見ると、「買い物・飲食」「趣味・娯楽」「学習塾」「習い事」など1か月あたりの平均活動日数や、1回の平均活動時間が結構近いもの多くて、円がグラフの真ん中に集まっているように見えます。その中でも、1回の平均活動時間でいうと、「アルバイト」が長くなっております。大学生の19ページの方を見ますと、少し分散しており、「買い物・飲食」は1回の平均活動時間が短いほうにきています。「趣味・娯楽」は1回の活動時間が長く、1か月あたりの平均活動日数もやや多い傾向があります。この図表の意味としてはそのようなことを表しているようになります。

今後の活用につきましては、まずは目的別にどのくらいの移動需要があるのかということを見ていきます。また、下校の時間からどのくらいの間、中心市街地に溜まっておられるか、どのくらいの時間になったら帰られるのか、どのくらいの時間が経ったら何かしらの移動手段が必要になるのかといったところを、今後の検討に役立てるデータと考えております。以上です。

議長

ありがとうございます。

我々が公共交通について検討をしていますが、移動するということ、その先が本当の目的です。例えば、図書館で何かする、そのために移動している。なので、その先の活動が何で、どのように町の中で時間を使っていたか、こういうことを知っておかないと適切なタイミングで帰り便を用意できないというところに着目されているのだろうと思いました。ほかに何か、どの調査でも構いませんけど、何かありますか。

委員

住民アンケートの中で免許証の返納意向で、一目瞭然で、返す気がない人が大半だなど。近いうちに返そうかなって思われている人は本当に少数意見だなどという現状ですが、実際にこのアンケートの回答者が60歳以上の方が大半なのに、現状このような回答があって、これから公共交通をもっと利用してもらおうとか、促進をするということについても当然考えていかないといけないですが、たちまち何ができるかという、なかなか何もできない。免許証の返納については、本人の意思が必要だと思いますが、ここらへんも非常に気になったひとつです。それから、それ以外の利用頻度も大変残念な結果だと思います。8割以上の方が今後も利用する気がない、みたいな回答があからさまに返

ってきているような状態で、これを何とかしていただきたい。実際にバスに乗っている人間としても、もっと利用してもらいたいと常々、思っていますが、この結果をみて事務局の方で何かありますか。

事務局
公共交通の利用者というのはアンケート結果でも想定していた通り、少ないという状況。それでも一定数の方は、公共交通がないと、非常に困るということがありますので、マイカーからの転換というあたりを利用促進で取り組んでいくということも大事ですし、今ある移動手段をもっと使いやすいものにして、今後も発展させていきたいと、私たちは常々思っています。

議 長

今のところは、非常に大切な質問だと思ひまして、たとえば年代層で、70代や80代の方で1年以内から5年以内に返納する気がない人について、⑦の公共交通を利用しない理由として、どのようなものがあげられているのか。このあたりを地域別に分析していただいて、この地域はこういう要因だから利用しないだとか、そのへんを深掘り、分析して、次のステップに進んでいただければと思います。よろしくお願ひします。他に何かありますか。

報告案件ということで、また何かお気づきがあったら事務局の方へお問い合わせいただければと思います。

では、その次の報告事項、報第2号ということで、予約型乗合タクシー実証運行経過報告について事務局から説明お願ひします。

事務局（資料2）

報第2号予約型乗合タクシー実証運行経過報告についてご説明いたします。現在実施している予約タクシー実証運行の実施状況は次のとおりです。なお、ご報告する内容は、令和3年12月末時点の状況になります。

1 千屋地域高齢者等移動支援ニーズ調査事業、千屋乗合タクシーについてです。（1）運行開始日は令和3年11月2日から運行を始めております。（2）利用登録者数は36人が登録されています。（3）運行日は毎週火曜日と土曜日の運行で16日運行しております。（4）利用者延べ数は、120名となっております。利用者の6割の方が買い物などを目的としたご利用をされております。4割の方は病院などへの通院を目的としたご利用をされておりました。また、運行を予定していた、運行日すべてを運行しており、最もご利用が多かった日の乗車数は14名でした。

続きまして、2 芸備線利用促進事業哲西乗合タクシーについてです。（1）運行開始日は令和3年11月15日から運行を開始しております。（2）利用者登録者数は、134名が登録されております。（3）運行日は31日運行しております。（4）利用者延べ数は237名となっております。最も多かった行き先は、哲西診療所で、利用者の6割が診療所への通院を目的としたご利用でした。次に多かったのは、哲西老人憩いの家で、1割程度でした。

また、ご利用になられた237名のうち15名の方が、寄り道利用をされており、寄り道利用者の4割の方が商店での買い物利用でした。こちらも運行を予定していた予定日をすべて運行しており、最も利用が多かった日の利用者数は19名でした。報告は以上になります。

議 長

ありがとうございます。

今報告いただきました案件につきまして、何かご意見かご質問はありますでしょうか。

委員

こういったものの場合、利用時間が重なるかと思うが、だいたいどれくらい利用を断ったのか。

事務局

15分程度お待ちいただいたことはあるようでした。お客様の方からキャンセルというのはお聞きしていますが、こちらから込み合っているのだと、お断りしたという事案は業者からは聞いておりません。

議長

ありがとうございました。

昨年末から新しく実証運行という形で始めております。今のところは順調にしているという認識でよろしいということですか。

事務局

はい。

議長

他に何かお気づきがありましたらお願いします。

これも報告案件ですので、後ほど何かありましたら事務局の方へお問い合わせください。

続いて報第3号です。市営バスの標準的なバス情報をフォーマット GTFIS-JP について事務局の方より説明をお願いします。

事務局

市営バスの標準的なバス情報フォーマットについて説明いたします。市営バス及びふれあいバスのバス停や時刻表などの情報を、国土交通省が定めた標準的なバス情報フォーマットにまとめ、オープンデータとして公開いたしました。これにより今まで経路検索で反映されていなかった、市営バスやふれあいバスの運行情報をグーグルマップや、その他経路検索サイトで反映させるようになりました。なお、対象路線は市営バス12路線、ふれあいバスは定時定路線である哲多地域を走る7路線です。報告は以上です。

議長

ありがとうございます。GTFIS-JP ということで、このフォーマットで準備したからといって何が、どう変わったのかを教えてくださいませんか。グーグルマップか何かを見たら市内を走っているバス路線が分かるようになったということですか？

事務局

経路検索サイトで経路検索をしていただくと、市営バスなどが移動手段として出てくるようになりました。

議 長

スマホとか、パソコンとかで検索してここに行きたいと思ったら、ここにバスがあり、ここに路線があり、時刻表も出てくるようになったイメージでよろしいですか。

事務局

はい。最短の時間とか、おすすめの移動経路が出てくるようになりました。

議 長

この案件について何か質問はありますか。

専門員

この取り組みについて、岡山県が一昨年からセミナーなどを開いて、県内の各市町村でも取り組んでいただいているという状況です。1つ報告しますと、先日、瀬戸内市で交通会議があり、瀬戸内市も10月から実施されたという話がありました。鉄道の駅から長船の刀剣博物館という観光地への便の土日の利用者が激増したということでした。最近、若い方を中心に免許を持っていなくても公共交通機関をご利用して、旅行される方が増えてきている。スマホで検索して移動されるという傾向が高いので、このような取り組みというのは非常にいいことだと思いますし、今後の利用促進策としても有効かなと思っています。1点お願いですが、導入したての頃はいいが、担当者が変わって、ダイヤが変わったあとに変更がしていなくて古いまま残っているというのが全国的にでてきているみたいです。市町村が独自でやっている市営バスとかそういうものが目立つということがあるので引き継ぎ事項とか、そのあたりで担当者が変わっても継続的にやっていただくことが必要だと思いますので、そこだけお願いします。

議 長

ありがとうございます。年末年始の特別な運行みたいな時もいちいち入力しないといけないということですね。こういうのは便利に使えるが、その下準備というのは担当者の負担になっているなどというのが見受けられます。もっと簡単にできるようになったらいいなと思います。今の案件について、他に質問ございますか。

■ 4 協議事項

次第の4 協議事項に移りたいと思います。ここからはいろいろなことを決めていくということになります。議第1号 令和3年度地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価について事務局から説明をお願いします。

事務局（資料3）

それでは議第1号 令和3年度地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価について説明いたします。この議案につきましては、国の令和3年度地域公共交通確保維持改善事業補助金を活用して運行しております、市街地循環バス「ら・くるっと」の運行事業評価について合意を求めるものです。この事業の実施に必要な地域内フィーダー系統確保維持計画を昨年度この会議で策定をしております、承認をされているところです。そこで定めた目標などの達成状況などを本日、この会議で評価をしまして、次年度の事業や今後の取り組みに対して改善点を反映させていくことになっています。ここで承認をされた調書は、今後運輸局に提出をしまして、2次評価を受けて、次年度以降に評価をフォローアップしていく流れになっています。それでは別添の資料3が評価調書になっています。その後ろに添付しております、別添2、別紙交通体系図、運行系統図なども資料として、合わせて運輸局へ提出することといたしております。それでは資料3の地域公共交通確保維持改善事業・事業評価調書に沿って説明させていただきます。協議会名は新見市地域公共交通会議です。評価対象事業名は、地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）です。①補助対象事業者等は、「備北バス株式会社」様です。②事業概要、「市街地循環線ということで、上市横見から石蟹を循環して運行しております。③前回の事業評価結果の反映状況につきましては、新たな利用者の掘り起こしを行うため、乗車人員30万人突破記念イベントとして、無料乗車デーやバスの乗り方教室、児童生徒のイラスト展などを開催して、利用促進を図ったとしております。④事業実施の適切性については、計画どおり事業は適切に実施されたと考えておりますので、評価はAとさせていただきます。⑤目標・効果達成状況につきましては、令和2年度に市街地循環バスの運行開始から乗車人員が30万人を突破したことを受け、記念のオリジナル「チョコQ」を作製して、記念イベントを実施するなどし、利用促進をおこなったが、利用者数1日あたり101人の目標に対して95.87人とどまった。目標の101人には届きませんでしたが、記念イベントの際には平日の約2倍程度のご利用もあったということもあり、一定の利用促進につながっているものと考え、評価はBということにさせていただきます。⑥事業の今後の改善点につきましては、今後も引き続き利用促進事業などの啓発活動を行い、潜在的な利用者の掘り起こしを行う。また、より一層の利用者の確保を行うため、利用者ニーズを活かした運行形態、ダイヤの見直しを行うことによって持続可能な運行を実施する。とし、コロナ禍ではありますが、機をとらえて利用促進事業を引き続き実施してまいりたいと考えています。以上です。

議長

ありがとうございます。これは、国に対して、事業評価を出すもので、この時期になるとどの自治体でも作っているものです。年に1回この時期に必ず出てくるということになりますが、今ご説明いただきました内容について何か、ご意見ご質問がございましたら伺いたします。

101人の目標に対して95.87人ということですが、コロナ禍の割には、頑張っている数字なのかなと、いう気がします。もしかして101人が少なすぎるのか などいろいろご意見あるかもしれません。思ったより中心市街地循環型バスはコロナの影響を受けていないのかなという気がしています。今回101人に対して、95.87人と、数字自体には、何も言うつもりはないですが、実施した内容が30万人突破記念イベントとしてこんなことやりましたというのはあるが、日常的には何をやっているの？というのが、気になっています。利用促進はイベントを1回やればよいよという話ではないと思いますが、そのあたりは何かもうちょっと書くことはなかったのでしょうか。

事務局

イベントのことについて書いておりますが、備北バスさんが感染対策をしっかり行いながら、運行していただいていることが一番の利用促進だと思っており、このコロナ禍では重要なことではないかなと考えておりますが、そのあたりの記載はしておりません。

議長

こまごま書くのはどうかと思われるのかもしれませんが、むしろ日々の安心感の方が、利用者にとっては大事かもしれませんし、かつそれをやっているということであれば、ぜひ書いていただいた方がいいのではないかと思います。特に公共交通を利用して、新型コロナウイルスに感染したという話は聞いたことはない。それくらいバス事業者様、公共交通事業者様がきちんと対策を取ってくださっているの、そういうところをきちんと評価したほうが良いのではないのかなというような気がいたしました。

他に何かございますか。これについては、承認をいただくという手続きが必要になっております。この公共交通会議として、この資料を提出するということになりますけど、今回作成していただいた、この調書を承認していただける方は、挙手にて意思表示をしていただければと思います。よろしくお願いたします。

ありがとうございました。この案件、承認ということで進めていきたいと思っております。事務局で手続きの方をよろしくお願いたします。

では、その次です。協議事項の2個目、議第2号です。市街地循環バス「ら・くるっと」10周年記念事業における無料乗車イベントの実施についてということで、資料4になります。説明をお願いします。

事務局（資料4）

議第2号 市街地循環バス「ら・くるっと」10周年記念事業における無料乗車イベントの実施についてです。この議案につきましては、今年で運行開始から10周年を迎えた市街地循環バス「ら・くるっと」の運賃を1日無料にすることに合意を求めるものです。

提案理由といたしましては、市街地循環バス「ら・くるっと」10周年記念イベントにおいて、さらなる利用促進をはかろうというものです。運行主体は、備北バス株式会社で、対象運行系統は、市街地循環系統です。実施は令和4年2月13日（日）を予定しております。

実施内容の詳細につきましては、別紙4が現在、備北バスの方で計画されている内容となります。資料4の実施内容をご覧ください。当日は7時40分横見発から18時26分新見駅到着まで運賃を終日無料にしたいと考えております。また、サンパーク新見を会場に記念イベントを計画しております。店内では警察による交通安全に関する講話、警察音楽隊による演奏、ビンゴ大会、駐車場のイベント会場では、「ら・くるっと」の車両、パトカー、白バイの展示、バスの乗り方教室と乗車体験、展示車両と新見のマスコットキャラクター「にーみん」との撮影会を予定しています。こちらのイベントについては新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を徹底しながら今年度も短時間で実施したいと考えています。「ら・くるっと」の運賃を1日無料にするにあたって、この会議の合意が必要であるため、お諮りするものです。本日合意をいただければ、備北バスから運輸局の方へ届け出

をされることとなります。

議 長

ありがとうございます。ご説明いただきました内容につきまして、何かご意見ご質問がありましたらお願いします。このイベントの中で、バスの乗り方教室を2回実施することになっていますが、具体的にどんなことをされる予定でしょうか。また、当日備北バス販売ブースで何を販売される予定ですか。レアなものを売っていると、大勢の人が来るかなと思ひまして、どのような状況なのか中身について教えてください。

事務局

この質問は、備北バスさんの方がよろしいかと思ひますので、お願いします。

委 員

ご質問に対してですけど、現在計画している段階ですが、バスの乗り方教室では、昨年も展示しているバスを使って事前に参加者を限定して募り、バスにご乗車いただきながらバスのこと、乗降の際の安全であるとか、運行中のマナーであったり、安全のためにどうするか、降りてからどうするかということを実際にお話ししたり、バスも活用して体験乗車的な感じでバスにも触れあっていただくような形で考えております。昨年のイベントの際の乗り方教室もこのような形で実施しました。昨年も参加をご希望される方が多かったので、2回実施しましたので、今回も2回実施する予定にしております。ブースでの販売では、2枚目のチラシの中にあるように「ら・くるっと」のチョコQ、備北バスの方で販売しているピンバッチやグッズ、バスカードなども利用促進につながりますので販売を予定しております。販売ブースで1,000円以上お買い上げいただいた方にビンゴカードを配布するように考えております。

議 長

ありがとうございます。他に何かありませんか。

専門員

ひとつ質問があるのですが、この無料というのは備北バス様の営業施策割引で実施か、それとも後で市の方で、補填するという形ですか。

事務局

市からの補填になると思ひます。

専門員

ありがとうございます。

議 長

他に何かございますか。

専門員

10周年記念事業ということで集客を目指すものになると思いますが、途中、感染予防対策徹底とあるのですが、年を明けてかなり多くでている。昨日からかなりの数が報告されている状況で、2月13日実施となっているが、状況を見極めつつ対応をお願いします。

議長

ありがとうございます。確かに先が見こせない嫌な雰囲気が漂っている気がしますが、2月13日の時点でどうなっていたらイベントを中止にするみたいな、どのタイミングで検討しますか。現状のような状態で安定していれば、どんどんやればいいと思いますが、沖縄とかまん延防止がでてきており、岡山も割にひどくなる地域ですけど、どういうところで判断してどのタイミングでイベントをやる・やめるかを決めるのかというところは、気になるところですが、何かアイデアはありますでしょうか。

事務局

感染症拡大の動向に注視しているところですが、市報にいま2月号で、こちらのイベントの広報を考えていますが、そのあたりでかなり増えてくるというような状況であれば、判断の時期なのかなと思います。今後も備北バスさんと協議をしながら、適切に実施する・しないを決めていきたいと思えます。

議長

2月号の広報ということで原稿は10日前くらいに作ることにしていると思いますが、何かあったときにイベントの中止を伝える、あるいは決行することを伝える方法を考えておいていただければと思います。おそらく市のホームページや備北バスのホームページになると思いますが、そのあたりが気になるので、よろしくをお願いします。他に何かありますか。前年のときは、乗り方教室の時に、人がたくさん殺到したらどうするのとかいう質問がありましたが、今回は先着20名できる予定ということですね。

事務局

先着20名ずつを2回ということです。

議長

イベントにたくさん人が来てくれたら、あそこに行きたい、みんなと乗りたいとなると思いますので、その場で判断していただければと思います。他に何かありますか。この案件につきまして、皆様の意見を聞きたいと思います。議第2号につきまして承認していただける方は挙手の方をお願いいたします。

ありがとうございます。議第2号につきまして、承認されましたので、事務局の方で準備を進めてください。

■ 5 その他

次第の5 その他に入ります。事務局の方で何か準備をしていますか。

事務局

1点報告させていただきます。JR 芸備線の利用促進事業ということで、先ほども申し上げましたが、11月15日から哲西の乗合タクシーの実証運行を行っております。前回の会議の際に、この実証運行の終期が未定ということで、ご説明したところ、区切りをつけて行ったほうが良いのではないかというようなご意見をいただいたところでございます。その後、検討しましたところ、現在、芸備線利用促進検討会議において進めている利用促進策、二次交通の充実という利用促進策でもあることから、利用促進を継続する間は、この乗合タクシー実証運行も継続していきたいと考えております。ただし、来年度については予算が認められればということになりますので、申し添えます。また、運行内容については、ある程度実施したところで利用者アンケートや聞き取り調査などを行い、随時見直して、またお諮りすることがあればこの会議でお諮りして、変更をかけながら続けていきたいと考えております。以上です。

議 長

ありがとうございます。他に何か、皆様ありませんか。せっかくお集まりいただいておりますので、公共交通がらみで、何かありましたら、お願いしたいと思っております。よろしいですか。特にないようですので、これで次第3番から5番まで終わったということで、最後閉会に移りたいと思っております。進行を事務局のほうにお返しします。

司 会（事務局長）

みなさんありがとうございました。それでは以上をもちまして本日の会議を終了いたします。閉会にあたりまして、会長からご挨拶をお願いいたします。

■ 6 閉 会

会 長

本日は報告事項3件と、協議事項2件ということで、いろいろなことについてご意見いただきありがとうございました。今後もコロナの状況を見ながらになってしまいますけど、安定的に公共交通を提供していく、サービスを提供していくということを目的にして、この会議を活性化していきたいと思っていますのでよろしくお願いします。本日はお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございました。

司 会（事務局長）

皆様におかれましては、大変お忙しいところ長時間にわたり、ありがとうございました。これにて閉会とさせていただきます。